



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏

TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成23年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,381	9.8	267	20.4	264	19.4	151	18.8
23年3月期第2四半期	1,257	1.5	221	△39.1	221	△39.1	127	△40.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 146百万円 (18.0%) 23年3月期第2四半期 124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.28	—
23年3月期第2四半期	10.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,655	805	48.7
23年3月期	1,561	784	50.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 805百万円 23年3月期 784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,889	15.0	454	57.2	449	61.2	260	76.1	22.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,370,000 株	23年3月期	12,370,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	975,067 株	23年3月期	975,067 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,394,933 株	23年3月期2Q	12,344,991 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年11月18日（金）・・・・・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、3月に発生いたしました東日本大震災により景気は大きく悪化しましたが、震災後のサプライチェーンの復旧等により一部に回復の動きが見られるものの、電力供給の制約や世界的な景気の減速、円高の進行などの影響により、依然として厳しい状況で推移しております。

一方、医薬品業界におきましては、激しい国際競争の中で経営統合や合併等の再編が続いております。さらに、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進等の薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化等により、ますます医薬品開発の競争は激化しております。

このような流れの中で、当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO）業界及び医薬品販売支援（CSO）業界は、医薬品開発のアウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しているものの、一方で、既存企業の規模拡大、事業譲渡、廃業などにより業界内の淘汰が進み、競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業については、前期及び前々期において発生した受託案件の中止による稼働率の低下もなく、引き続き営業活動を強力に推進し新規案件の受託及び既存案件の増員の契約を締結したことにより、当第2四半期連結累計期間の収益に貢献いたしました。また、CSO事業については、少額ながら収益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,381百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は267百万円（前年同四半期比20.4%増）、経常利益は264百万円（前年同四半期比19.4%増）、四半期純利益は151百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ93百万円増加し、1,655百万円（6.0%増）となりました。これは、主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円増加し、849百万円（9.3%増）となりました。これは、主に未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ21百万円増加し、805百万円（2.7%増）となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より11百万円増加し、560百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は171百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益264百万円の計上があったものの、売上債権の増加額46百万円及び法人税等の支払28百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は9百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出8百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は146百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出15百万円及び配当金の支払による支出125百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① 概要

当第2四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

弊社の受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成23年3月期末の受注残高に比べ平成23年10月28日時点の受注残高は4.2%増加しております。これは、既存の委受託契約を順調に消化しつつ、これを上回る受託案件の新規契約があったことにより受注残高の金額が増加したものです。

当初の計画に従い、当第2四半期連結累計期間における人員の採用と教育は順調に進んでおり、新規クライアントを含め大手製薬会社を中心とする受託業務の拡大を図り、成長性と安定性を確保してまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成23年 3月期末 (A)	平成24年3月期		増減率(%) (B-A)/A
		第2四半期末	平成23年10月 28日時点 (B)	
受注残高	4,215	4,384	4,392	4.2
内訳	第一三共	869	1,254	44.3
	大塚製薬	1,346	1,041	△22.6
	武田薬品工業 グループ	1,185	904	△23.7
	その他	813	1,184	46.5

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,632	459,813
売掛金	616,844	662,923
有価証券	100,775	100,820
前払費用	27,993	44,422
繰延税金資産	30,338	38,220
立替金	39,593	50,615
その他	93	314
流動資産合計	1,264,270	1,357,130
固定資産		
有形固定資産	55,210	53,219
無形固定資産	1,160	1,561
投資その他の資産		
差入保証金	228,182	227,244
その他	12,209	15,871
投資その他の資産合計	240,391	243,115
固定資産合計	296,762	297,896
資産合計	1,561,033	1,655,027
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	67,771	51,391
未払費用	39,273	42,730
未払法人税等	32,675	130,555
未払消費税等	15,115	22,175
預り金	32,591	14,044
賞与引当金	61,074	65,361
リース債務	11,228	9,979
その他	718	687
流動負債合計	290,447	366,925
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	107,500	92,500
リース債務	8,650	9,848
退職給付引当金	20,377	30,239
固定負債合計	486,527	482,587
負債合計	776,974	849,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	791,235	817,241
自己株式	△289,159	△289,159
株主資本合計	789,118	815,125
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,059	△9,611
その他の包括利益累計額合計	△5,059	△9,611
純資産合計	784,058	805,513
負債純資産合計	1,561,033	1,655,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,257,687	1,381,188
売上原価	717,207	805,678
売上総利益	540,479	575,510
販売費及び一般管理費	318,577	308,277
営業利益	221,902	267,233
営業外収益		
受取利息	170	103
為替差益	350	157
その他	5	—
営業外収益合計	526	261
営業外費用		
支払利息	766	2,825
営業外費用合計	766	2,825
経常利益	221,662	264,669
特別損失		
固定資産売却損	—	11
特別損失合計	—	11
税金等調整前四半期純利益	221,662	264,657
法人税、住民税及び事業税	98,684	125,496
法人税等調整額	△4,368	△12,189
法人税等合計	94,315	113,306
少数株主損益調整前四半期純利益	127,346	151,351
四半期純利益	127,346	151,351

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,346	151,351
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,926	△4,552
その他の包括利益合計	△2,926	△4,552
四半期包括利益	124,420	146,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,420	146,799

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,662	264,657
減価償却費	14,703	13,335
長期前払費用償却額	2,043	1,550
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,982	4,287
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,687	9,862
有形固定資産売却損益(△は益)	—	11
受取利息及び受取配当金	△170	△103
支払利息	766	2,825
為替差損益(△は益)	△350	△157
売上債権の増減額(△は増加)	△56,852	△46,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	623	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,064	7,059
立替金の増減額(△は増加)	△2,729	△11,021
前払費用の増減額(△は増加)	△10,612	△16,420
未払金の増減額(△は減少)	△14,095	△12,479
預り金の増減額(△は減少)	△16,279	△18,547
その他	4,334	3,557
小計	137,648	202,337
利息及び配当金の受取額	170	103
利息の支払額	△783	△2,864
法人税等の支払額	△98,343	△28,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,691	171,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,993	△8,782
有形固定資産の売却による収入	—	22
無形固定資産の取得による支出	—	△1,050
長期前払費用の取得による支出	△359	—
差入保証金の差入による支出	△791	△180
差入保証金の回収による収入	282	175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,862	△9,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	26,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△135,227	△125,344
リース債務の返済による支出	△6,781	△5,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,019	△146,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,576	△4,315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△96,766	11,225
現金及び現金同等物の期首残高	630,801	549,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	534,034	560,633

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。